

この説明書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。

漢方薬局 旺樹の杜 桂枝加芍薬大黃湯

桂枝加芍薬大黃湯は、「傷寒論」を原典とする、腹がはって、腹部膨満感、腹痛があり、便秘する人の、便秘やしぶり腹に用いられる漢方薬です。

してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないでください。 生後3カ月未満の乳児。
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。 他の瀉下薬（下剤）
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
(4) 高齢者。(5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
(6) 次の症状のある人。むくみ (7) 次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること
下痢
4. 1週間位（しぶり腹に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
5. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

効能・効果

体力中等度以下で、腹部膨満感、腹痛があり、便秘するものの次の諸症：便秘、しぶり腹

<効能・効果に関連する注意>

しぶり腹とは、残便感があり、くり返し腹痛を伴う便意を催すもののことです。

成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	ケイヒ	シャクヤク	タイソウ	ショウキョウ	カンゾウ	ダイオウ
分 量	4.0g	6.0g	4.0g	1.0g	2.0g	1.0g

用法・用量

本品1包に、水約500mLを加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。

上記は大人の1日量です。

年 齢	大人（15才以上）	14才～7才	6才～4才	3才～2才	2才未満	3カ月未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	大人の1/3	大人の1/4以下	服用しないこと
1日服用回数	3回					

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- (4) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (5) 本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。

その他 医薬品副作用被害救済制度に関するお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）